

2021年1月6日
SOMPOシステムズ株式会社

中国・大連のシステム開発現地法人子会社が中国企業と資本提携

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）のシステム子会社であるSOMPOシステムズ株式会社（取締役社長：浦川 伸一、以下「SOMPOシステムズ」）は、2010年3月に営業を開始した中国・大連の現地法人子会社であるSOMPOシステムズ大連（董事長：浦川 伸一、以下「SSD」）について、東軟集団股份有限公司（董事長：劉 積仁、以下「東軟」）との合弁契約を2020年12月20日付で締結し、資本提携したことをお知らせします。

1. 東軟の概要

東軟は中国を代表するITソリューション・サービスプロバイダーの1社であり、日系企業と提携した自動車関連事業（EV（電気自動車）開発、カーシェアリング、コネクテッドカー（つながる車）開発）、損害保険事業、健康・医療関連事業などを展開しています。事業領域はSOMPOグループとも高い親和性があり、SOMPOシステムズとの長年の協業関係および広い領域での開発実績を有しています。

2. 資本提携の目的および今後について

SSDは、国内損害保険会社で初の中国システム開発拠点として、SOMPOグループのシステム開発力強化とシステムコストの削減・抑制に貢献してきました。東軟との合弁会社化により、同社グループが有するSOE・SOI※領域など新事業領域での知見・技術力の習得や、東軟によるコストパフォーマンスの高い要員の育成・輩出を通じ、自社グループによる現地システム開発業務を拡大し、さらなるシステム開発力強化とシステムコストの削減・抑制を目指します。

※SOE（Systems of Engagement）は個人や企業などの取引先とのコンタクトに利用するシステム群で、顧客コンタクト手段の多様性に対応した最新技術での迅速な開発が求められます。

SOI（Systems of Insite/Intelligence）はビッグデータの収集・分析を行い、他のシステムへ反映するシステム群で、クラウド・AIなどの最新技術を活用します。

【SOMPOシステムズ大連の概要】

名 称 : 日本財産保険系統（大連）有限公司

（日本名：SOMPOシステムズ大連）

（英 名：Sompo Systems (Dalian) Inc.）

資本金 : 1億円（SOMPOシステムズ：7,000万円、東軟：3,000万円）

董事長 : 浦川 伸一

所在地 : 中華人民共和国遼寧省大連市学苑広場1号

大連軟件園18号棟B501

経営範囲 : SOMPOグループからの受注を主とし、以下の業務を行う。

- ①ソフトウェアの開発及び販売
- ②情報処理業務の受託
- ③その他、上記に付随する一切の事業

従業員数 : 172名（中国現地150名、SOMPOシステムズへの出向22名）

（2020年12月末現在）

以上